

○まちかど救急ステーション事業の取組

まちかど救急ステーション事業

開始

令和元年10月

エリア

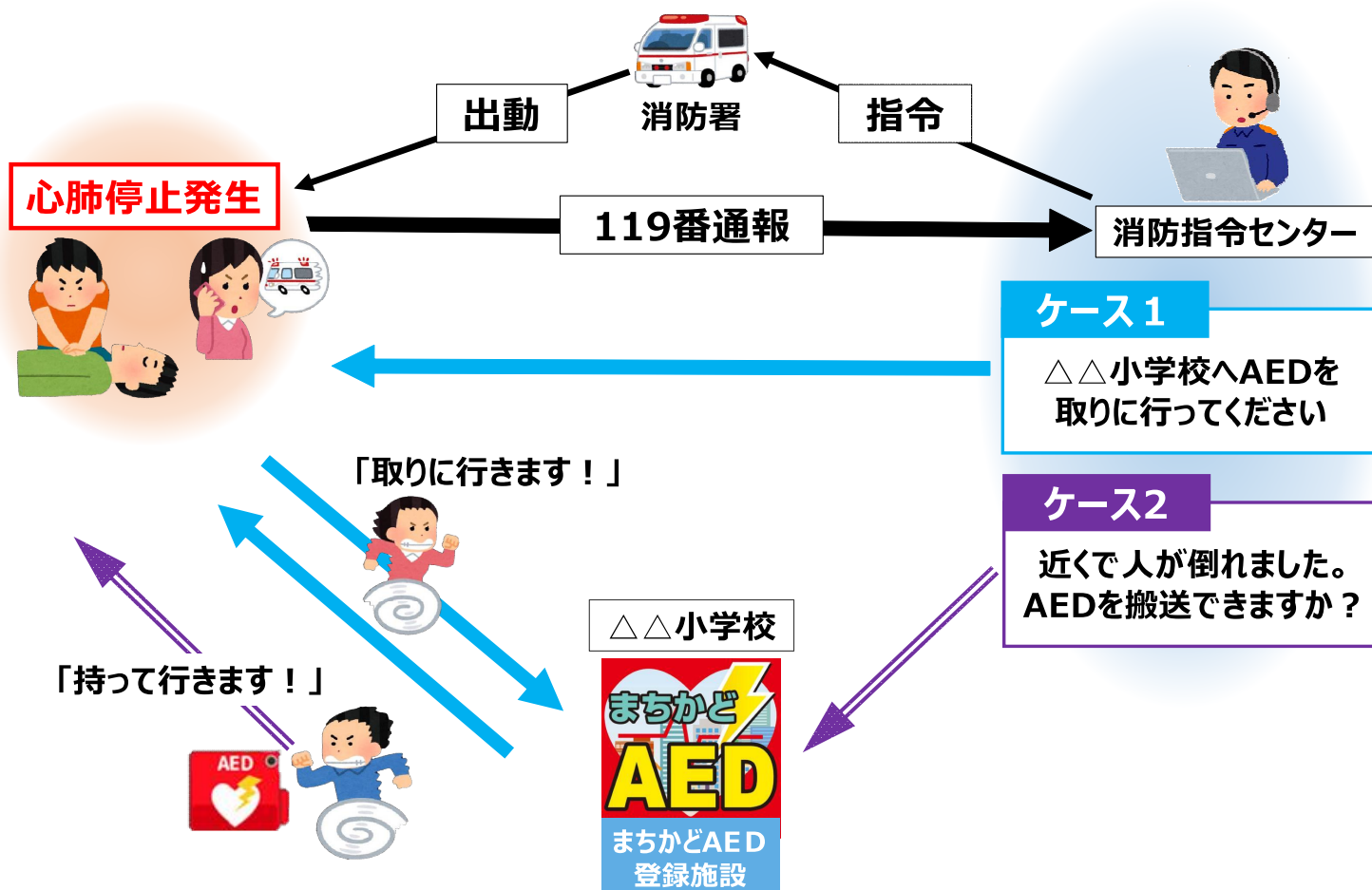
堺市消防局管内（堺市・高石市・大阪狭山市）

登録台数

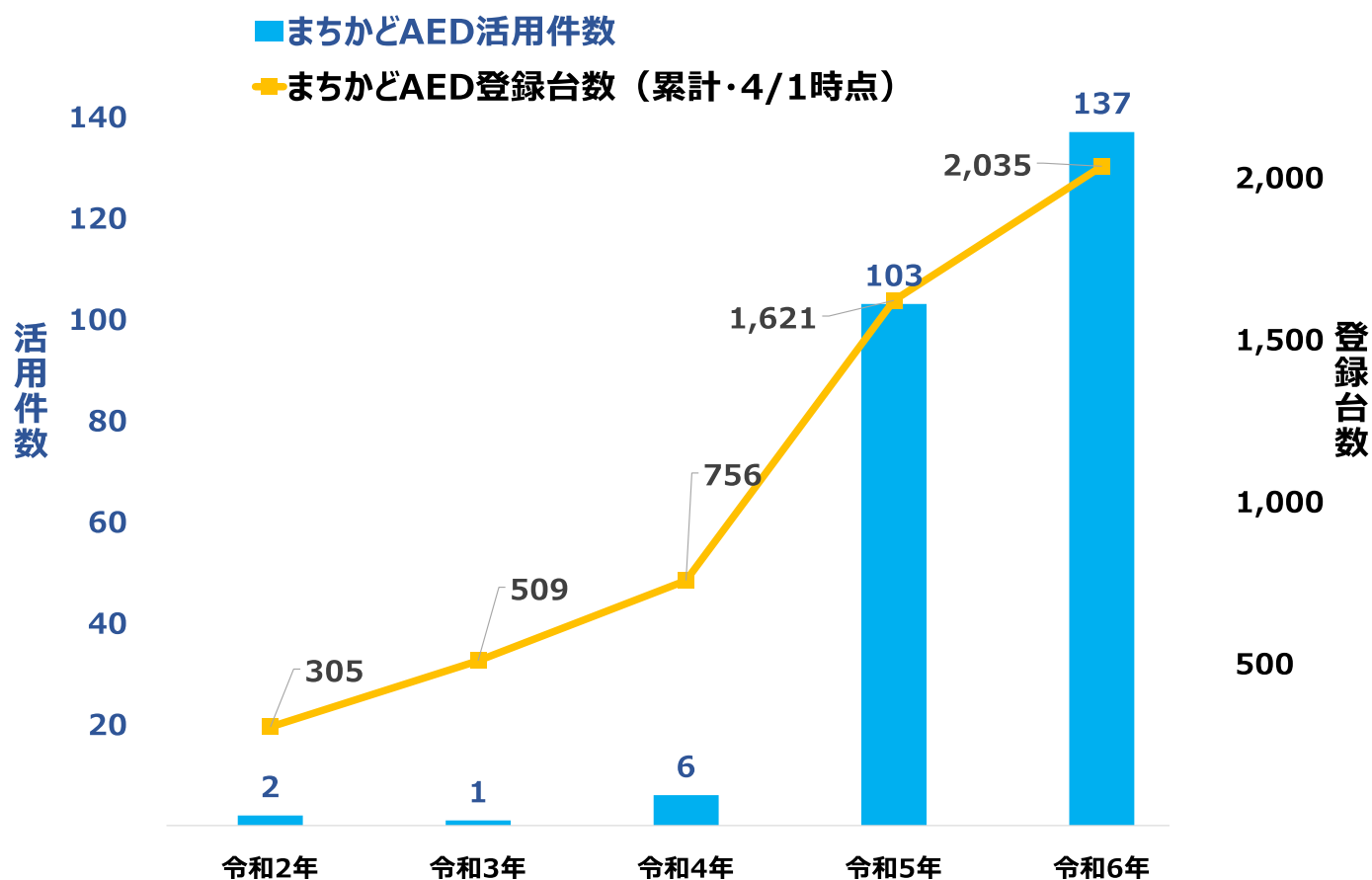
2,416台（令和7年1月現在）



まちかどAEDが現場に届く仕組み



まちかどAED登録台数と活用件数の推移



市民がまちかどAEDで電気ショックを実施した件数

令和元～3年	令和4年	令和5年	令和6年
0	3	15	16

設置施設内	24件	設置施設外	10件
-------	-----	-------	-----

- ▶ AEDを迅速に届ける必要がある
(電気ショックが1分遅れるごとに救命率は7～10%低下)
- ▶ 夜間はAEDを貸し出せない施設がある

まちかどAED登録施設・救命活動協力者を増やす

AEDマッピング救命医療研究①

いち早くAEDを届ける仕組みを検証

実施期間 令和6年12月10日～令和8年12月31日

堺市消防局

職員の登録
システム構築

大阪公立大学

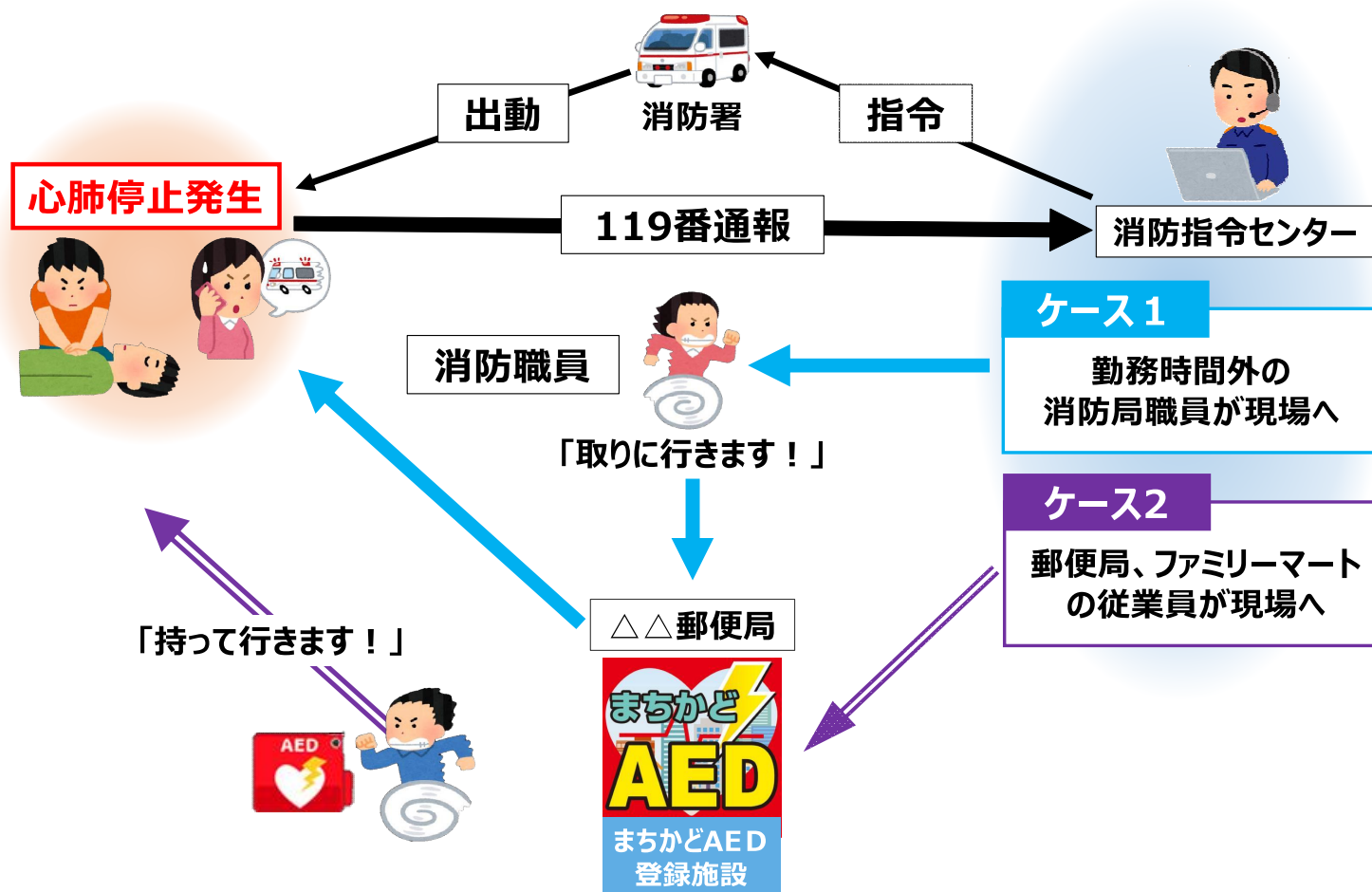
AED設置の効果分析
蘇生率の計測など医学的検証

日本光電工業
セコム

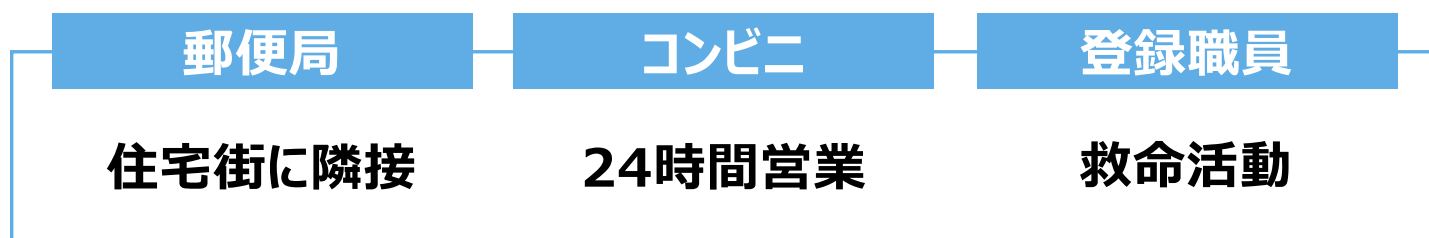
AEDの設置・管理、リモート監視
研究データの提供

郵便局（101か所）
ファミリーマート（85か所）

AEDの設置・登録



今後の方向性



効果検証の実施

AEDをいち早く届ける仕組み

救命率への影響、設置場所の有効性

安心できる堺の実現